



杉並区

博物館の地口(ダジャレ)で笑おう!

26.02.10

杉並区広報課

言葉・絵遊び ～初午の地口行灯～

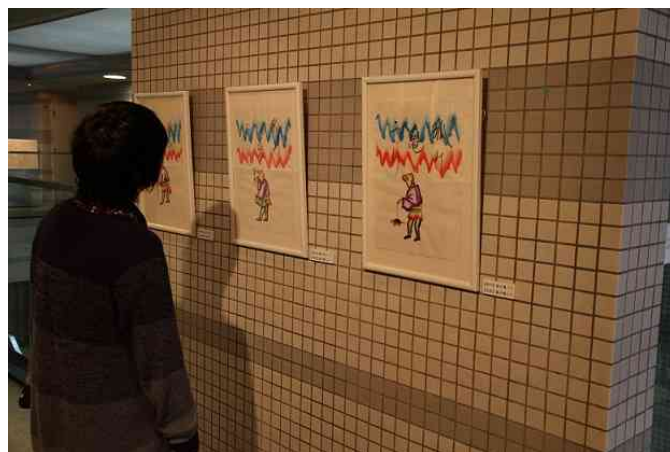
28日(金)まで、区立郷土博物館(大宮1-20-8)で、ミニ企画展「言葉・絵遊び～初午の地口行灯～」の展示が行われています。2月の年中行事「初午」にちなみ、区内の稲荷社で行われる初午行事と、初午のときに飾られてきた地口行灯の笑いの世界を紹介しています。展示に合わせて、ユニークな地口(ダジャレ)も募集しています。

初午(はつうま)といわれる、2月最初の午の日には、各地で稲荷神を祀る行事が行われ、稲荷社へ地口(じぐち)と面白い絵を描いた地口行灯(あんどん)を飾る風習が東京都を中心にあります。区内でも、光明院(上荻2-1-3)の縁日で飾られていたことがあります。地口とは、ことわざなど誰もが知っている言葉を同じような音(おん)に置き換えて全く違う意味の言葉にして楽しむ言葉遊びの一種で、今でいうダジャレに近いものです。

初午に合わせて、区立郷土博物館では、区内の稲荷社の初午行事と、職人が描いた地口絵紙を30点ほど紹介しています。例えば、

「ざるも木から落ちる」という地口とともに(元句はことわざの「猿も木から落ちる」)、ざるが木から落ちている絵が描かれているなど親しみやすい地口絵紙が展示されています。

また、今回の展示に合わせて、郷土博物館では、面白おかしい新作地口を14日(金)まで募集しています。応募作品は、28日(金)まで博物館で展示します。みなさんのユニークなダジャレをお待ちしています。



郷土博物館 ミニ企画展「言葉・絵遊び～初午の地口行灯～」

【地口の展示期間】2月28日(金)まで

【展示場所】郷土博物館(大宮1-20-8)

休館日:毎週月曜日(祝日と重なった場合は開館、翌日休館)・毎月第3木曜

例)有名な文句をもじったもの(「嘘から出たまこと」を「うすから出たまぐる」)

郷土博物館 新作地口(ダジャレ)募集

【応募方法】区立郷土博物館に設置してあるコーナーでの直接記載することができます。

ハガキまたはFAXで、「氏名(展示時、氏名の掲載可否も)・〒・住所、電話番号、新作地口と元になった文句」を書いて、2月14日(金曜)(消印有効)までに、郷土博物館(〒168-0061 大宮1丁目20番8号 FAX03-3317-1493)へ応募してください。

【募集期間】2月14日(金)17時まで

【参考URL】<http://www2.city.suginami.tokyo.jp/event/event.asp?event=20766>

【問合せ先】総務部広報課 TEL:3312-2111
郷土博物館 TEL:3317-0841